

日本現代中国学会第 62 回全国学術大会のご案内

会員各位

このたび、一橋大学国立キャンパスにおいて今年度の日本現代中国学会全国学術大会を開催することになりました。今年は日中国交正常化 40 周年を迎えますが、遺憾ながら日中関係はその節目の年に「非正常」な事態に陥っています。この大会でも共通論題報告者に上海からお招きした方がそのため渡日できなくなり、急遽、音声参加に変更せざるをえなくなりました。こうした事態は解決に向かえない日中の政治の硬直化にくわえ、各種のメディアで煽られた嫌中・反日の帰結といえ、これまで開催準備に当たった者としてもやりきれない思いです。本学会会員こそは専門的知識と広い視野、長いスパンから冷静に問題を打開できるよう訴えかけたいものです。

今日のグローバル化社会において、メディアの果たす役割はかくも大きなものがあります。本大会でもこの点を注視し、10月20日(土)午後には東キャンパスのマーキュリーホールにおいて、「中国社会とメディア・コミュニケーション」を共通論題とし、社会文化学・歴史学・国際社会学的な視点からの報告、文学や国際関係論などを踏まえての多角的な視座からの討論を行います。

2日目の10月21日(日)には西キャンパスの本館の5つの教室において、特別(テーマ別)分科会(1. 文学、2. 政治経済学、3. 映画メディア、4. 現代思想、5. ジェンダー)および自由論題の分科会(社会文化、思想史、エスニシティ、歴史、政治経済1・2、文学1・2)を同時に開催します。

一橋大学はその前身の東京商科大学時代、関東大震災に遭って神田一ツ橋から都内の西郊外、武蔵野の雑木林の面影を残す緑豊かな国立に移転してきました。キャンパス内には、大会要旨集掲載のアジア建築史研究で知られる村松伸氏によるエッセイで紹介されているように、20世紀前半の著名な建築家、伊東忠太の設計になる文化財的価値を有する建築も含まれています。

中国研究をめぐる環境は危機的なものがあるだけに、いっそうのこと、大会実行委員会一同、みなさまの真摯かつ積極的なご参加を得て、充実した学術交流・懇談の機会となりますよう心から願っております。また、昨年の大震災に対する義援金箱を設置しますのでどうかご協力ください。

記

日時 2012年10月20日(土)、21日(日)
会場 一橋大学(国立キャンパス) *1日目と2日目で会場が異なります。
20日: マーキュリータワー7階(東キャンパス)
21日: 本館(西キャンパス)

◆一橋大学大会実行委員会:

坂元ひろ子(委員長、社会学研究科) / 佐藤仁史(社会学研究科) / 坂井洋史(言語社会研究科)
/ 松永正義(言語社会研究科) / 鈴木航(社会学研究科院生 RA)

◆事務局:

住所: 〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学・大学院社会学研究科

坂元ひろ子研究室気付 / メールアドレス: genchu2012hit@gmail.com

プログラム

大会1日目

■10月20日(土) 全国理事会/共通論題/総会/懇親会■

会場：一橋大学・マーキュリータワー7階(受付のみ1階)(国立東キャンパス)

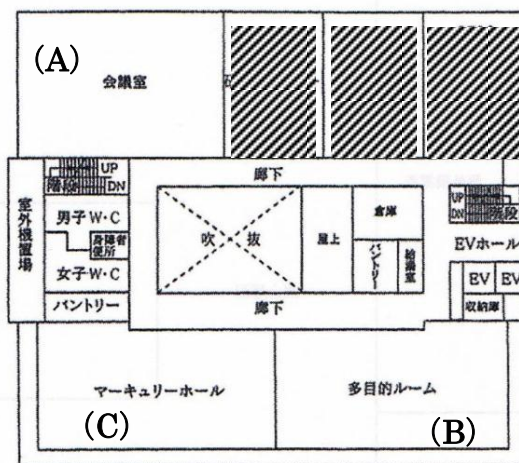
《全国理事会》	※今年度は1日目の午前中、同じ会場にて開催します。
10:00~11:00	全国理事会(現) マーキュリータワー7階・会議室(A)
11:00~12:00	全国理事会(新)

12:30~	受付開始マーキュリータワー・エントランス(1階)
13:00~17:10	<p>《共通論題》多目的ルーム(B)7階</p> <p>テーマ「中国社会とメディア・コミュニケーション」</p> <p>司会：坂元ひろ子(一橋大学)</p> <p>報告：</p> <p>◇羅崗(華東師範大学)「インターネット空間と現代中国社会の転型——中国における「人力検索」(インターネット・マン・ハント)とネット民意の要求」</p> <p>通訳：石井剛(東京大学)</p> <p>◇岩間一弘(千葉商科大学)「20世紀上海の観光都市化と日本人観光客のシノワズリ」</p> <p>◇田嶋淳子(法政大学)「グローバル化の中の中国系エスニック・メディア：ローカル・ナショナル・トランスナショナルからの視点」</p> <p>討論：松浦恆雄(大阪市立大学)・阿古智子(早稲田大学)</p>
17:10~18:10	総会多目的ルーム(B)7階
18:20~20:20	懇親会マーキュリーホール(C)7階

*会場案内図①マーキュリータワー7階・東キャンパス◇

- 1日目受付：
マーキュリータワー1階エントランス、入って
右手奥のエレベーター・ホール前
- 会議室(全国理事会・大会本部)(A)◇
- 多目的ルーム(共通論題・総会会場)(B)◇
- マーキュリーホール(懇親会会場)(C)◇

※なお、キャンパス内配置図は末尾に。



大会 2 日目

■10月21日(日) 特別(テーマ)分科会/自由論題分科会■

会場：一橋大学・本館(国立西キャンパス)

【分科会タイムテーブル概要】

時間・教室	2階 26番	3階 36番	3階 38番	2階 28番	2階 24番
<午前> 10:00~12:00	〔特別1〕 文学	〔特別2〕 政治経済		〔自由A〕 思想史	〔自由B〕 エスニシティ
<午後1> 13:30~15:30	〔特別3〕 映画メディア	〔特別4〕 現代思想	〔自由C〕 政治経済1	〔自由D〕 文学1	〔自由E〕 歴史
<午後2> 15:45~17:45	〔特別5〕 ジェンダー		〔自由F〕 政治経済2	〔自由G〕 文学2	〔自由H〕 社会文化

※分科会は、特別・自由論題ともに、午前・午後1・午後2の三つの時間帯に配置されます。

※会場の教室の位置については、分科会タイムテーブル末の会場案内図②をご覧ください。

【分科会タイムテーブル詳細】

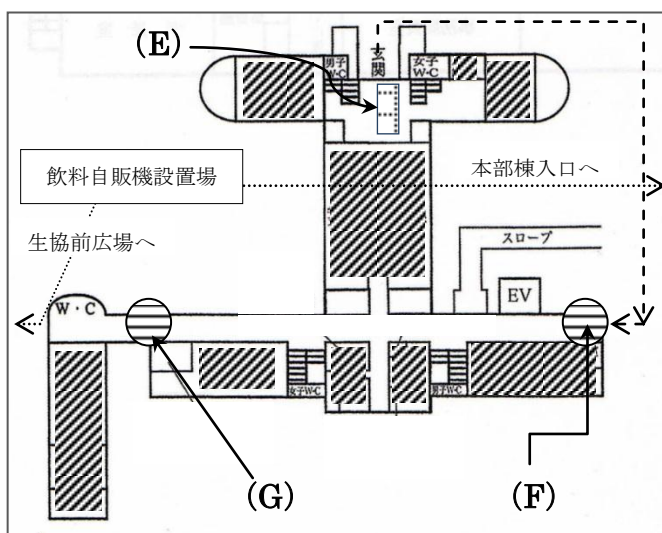
09:30	受付開始 ……………本館正面玄関 (E) (ただし会場教室へは (F) (G) から)
	特別(テーマ)分科会・自由論題分科会
<午前> 10:00 12:00	<p>〔特別1〕文学 ……………本館2階26番教室 テーマ「80年代中国/脱政治時代の知的再編——文学から見る——」 企画・司会・討論：坂井洋史(一橋大学)</p> <p>報告： ◇郭春林(上海大学)「80年代の農村テーマ小説における脱集団化叙述について」 ◇許司未(一橋大学・院)「脱一元化の主体——張承志作品の中の民族と国家——」 ◇鈴木将久(明治大学)「ポスト文革時代における「政治と文学」——「胡風名誉回復」を文学史的に考える——」</p>
	<p>〔特別2〕政治経済 ……………本館3階36番教室 テーマ「中国の土地と不動産の政治経済学」 企画・司会：丸川知雄(東京大学)</p> <p>報告： ◇梶谷懐(神戸大学)「農地転用と地方政府による制度間競争」 ◇中岡深雪(北九州市立大学)「住宅・不動産価格の高騰に関する考察」 ◇松村嘉久(阪南大学)「オリンピックは北京をどう変えたのか」 討論：高見澤磨(東京大学)</p>

<p>〈午前〉 10:00 12:00</p>	<p>〔自由 A〕思想史 ……………本館 2 階 28 番教室 座長：中村元哉（津田塾大学） A-1. 吉川次郎（中京大学）「雲南出身知識人李根源（1879－1965）を軸にみる中華民国初期の中心と周縁」 A-2. 原正人（中央大学）「研究系と五四運動」 A-3. 森川裕貫（日本学術振興会特別研究員 PD）「民主と独裁をめぐる論戦における張東蓀の論理」 A-4. 竹元規人（福岡教育大学）「清華学派」再考：1930 年代の国立清華大学文學院」</p> <p>〔自由 B〕エスニシティ ……………本館 2 階 24 番教室 座長：平野聡（東京大学） B-1. ボヤント（桐蔭横浜大学・院）「内モンゴル東部地域における「民族分裂案件」の実態——ホルチン左翼後旗を中心として——」 B-2. 暁剛（明治大学・院）「内モンゴル東部地域における草地開墾と漢族移民——ホルチン左翼後旗を事例として——」 B-3. 西野可奈（東京工業大学）「1930 年代中国社会学における「人種」概念」 ※姚新華「中国におけるトン（侗）族の喫煙文化の社会学的研究——湖南省、貴州省での調査をもとに——」→本人都合により取りやめ</p>
<p>12:00～13:30 （昼食休憩）</p>	
<p>〈午後 1〉 13:30 15:30</p>	<p>特別（テーマ）分科会・自由論題分科会</p> <p>〔特別 3〕映画メディア ……………本館 2 階 26 番教室 テーマ「中国研究と映画メディア」 企画・司会・討論：晏妮（明治学院大学・非常勤） 報告： ◇宍雄（北海道大学）「ロウ・イエ映画における空間表現」 ◇張新民（大阪市立大学）「淪陥期の華北電影の巡回上映に関する一考察」 ◇韓燕麗（関西学院大学）「戦時中の重慶における官営撮影所の映画製作について」 討論：白井啓介（文教大学）、菅原慶乃（関西大学）、晏妮</p> <p>〔特別 4〕現代思想 ……………本館 3 階 36 番教室 テーマ「世界システム論」と中国現代思想——ジョヴァンニ・アリギの投げかける問い——」 企画・司会：緒形康（神戸大学） 報告： ◇園田茂人（東京大学）「北京コンセンサス」とアジア史の自己主張」 ◇石井知章（明治大学）「アリギ評価に見る中国革命と中国研究のパラダイム」 ◇與那覇潤（愛知県立大学）「中国化するアダム・スミス」 討論：中山智香子（東京外国語大学）</p>

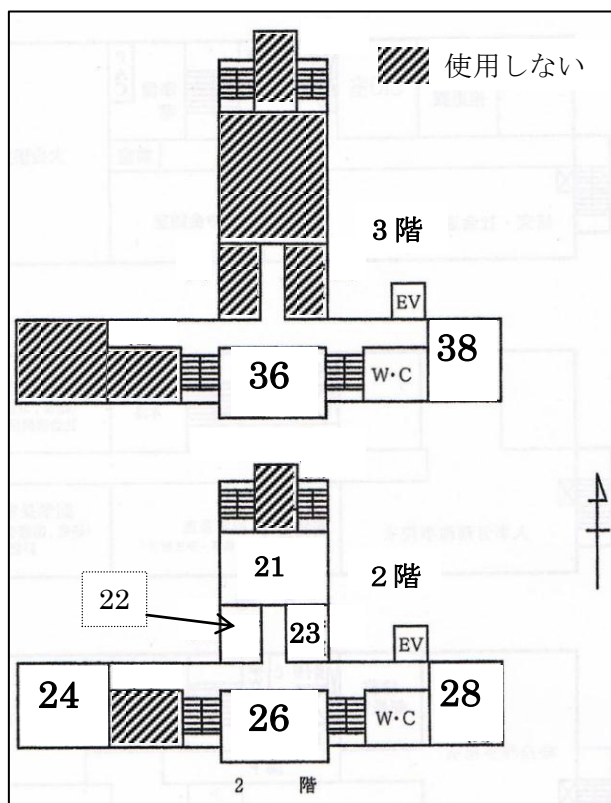
	<p>〔自由 C〕 政治経済 1 ……………本館 3 階 38 番教室 座長：趙宏偉（法政大学） C-1. 下野寿子（北九州市立大学）「改革開放期における福建省内の対台工作に関する一考察」 C-2. 大西広（慶応義塾大学）「中越国境から見た中越関係」 C-3. 日吉秀松（日本大学）「『二月逆流』と毛沢東の陰謀」 C-4. 張利軍（中央大学・客員研究員／中共中央編訳局）「なぜ中国共産党は冷戦から今日まで持続しているのか——政治参加を中心に——」</p>
<p>〈午後 1〉 13:30 15:30</p>	<p>〔自由 D〕 文学 1 ……………本館 2 階 28 番教室 座長：白水紀子（横浜国立大学） D-1. 高峽（日本学術振興会特別研究員 PD）『駱駝祥子』における北京の時空間について」 D-2. 天神裕子（お茶の水女子大学・院）「遷台」女性作家が描いた“理想の家庭”言説——『中央日報』「婦女与家庭」より——」 D-3. 栗山千香子（中央大学）「消された物語——梅娘『蟹』の改作問題および新たな読み方の可能性について——」 D-4. 河村昌子（明海大学）「高行健『一個人的聖經』における語りの特徴——残された一人称——」</p>
	<p>〔自由 E〕 歴史 ……………本館 2 階 24 番教室 座長：吉澤誠一郎（東京大学） E-1. 小野泰教（東京大学）「郭嵩燾の風俗観念と西洋政治制度——議会制、学会組織を中心に——」 E-2. 黒川由希（名古屋大学・院）「王韜『淞濱瑣話』『漫游随録図記』から見る清末文人の女性像・女性観」 E-3. 劉珊珊（上智大学・院）「清末新政期の「毀学」風潮」 E-4. 鈴木航（一橋大学・院）「戦地記者としての曹聚仁——中国ジャーナリストの近代性をめぐって——」</p>
<p>〈午後 2〉 15:45 17:45</p>	<p>小休憩（15:30-15:45） 〔特別 5〕 ジェンダー ……………本館 2 階 26 番教室 テーマ「現代中国におけるジェンダー・生育・人々の絆」 企画：小浜正子(日本大学)、司会：江上幸子(フェリス女学院大学) 報告： ♪姚毅（東京大学・非常勤）「伝統資源の利用とジェンダー秩序の再編——産婦人科女医養成を例に——」 ♪濱田麻矢（神戸大学）：「生育は女の絆をどう変えるか——王安憶の描くレズビアン連続体——」 ♪小浜正子「生育の医療化・国家化と家族の絆——「一人っ子政策」と母系家族の顕現——」 討論：高嶋航（京都大学）</p>

<午後2> 15:45 17:45	〔自由 F〕 政治経済2 ……………本館 3 階 38 番教室 座長：池上彰英（明治大学） F-1. 聶海松（東京農工大学）「中国の人口高齢化と社会的現実」 F-2. 于蓉蓉（東京農業大学・院）「中国の「退耕還林」政策実施後における山村発展の現状と課題」 F-3. 吉川純恵（早稲田大学・院）「中国とWTO——グローバルスタンダードへの接近と国内改革——」
	〔自由 G〕 文学2 ……………本館 2 階 28 番教室 座長：代田智明（東京大学） G-1. 秋吉収（九州大学）「魯迅の散文詩集『野草』における周作人、佐藤春夫の影」 G-2. 伊藤徳也（東京大学）「北斗生「支那文壇無駄話」を周作人の逸文として読む」 G-3. 西楨偉（熊本大学）「師弟関係の物語——豊子愷『教師日記』とハーン『英語教師の日記と手紙』とアミーチス『クオーレ』をめぐって——」 G-4. 徐曉紅（東京大学・院）「未亡人の生の叫び——施蛰存、ハムスン、シュニツラーの作品を中心に——」
	〔自由 H〕 社会文化 ……………本館 2 階 24 番教室 座長：千野拓政（早稲田大学） H-1. 楊麗君（シンガポール国立大学）「韓寒と中国の公共空間」 H-2. 牧陽一（埼玉大学）「艾未未とボディー・メディア、自由空間」 H-3. 張広帥（北海道大学・院）「「郷村観光」による農民の自律性形成に関する研究」 H-4. 西本紫乃（広島大学・院）「Web.2.0時代の民間のソーシャル・ネットワークと相互扶助——広東省における公益活動の事例研究——」

*会場案内図②（本館・西キャンパス）



2日目受付⇒ (E)
 本館出入口 (2か所) ⇒ (F) (G)
 大会本部：2階 22番教室／休憩所：2階 21番教室



事務局からの注意事項

1. キャンパスへの車両入構は制限されています。どうぞ公共交通をご利用下さい。なお付近に有料の駐車場があります。
2. 今年度の全国理事会は、大会初日の10月20日（土）午前中、マーキュリータワー7階（東キャンパス）会議室において開催します。
3. 大会初日（マーキュリータワー、東キャンパス）と2日目（本館、西キャンパス）は会場が異なります（両キャンパスは大学通りをはさんでいます）。大会初日の受付はマーキュリータワー1階（東キャンパス）エントランスのエレベーター・ホール前において行います。2日間共通の名札を受付で得て、両日とも着用してください。2日目からの参加の方は、本館（西キャンパス）正面玄関（12頁案内図E）で受付をいたしますが、当日、正面玄関と会場は日曜施錠の事務スペースに隔てられて通り抜けできません。会場への出入りは本館の両端の出入口（12頁案内図F・G）よりお願いいたします。
4. 大会参加費（資料代）は1000円、懇親会費は一般4000円、学生3000円です。振り込みなしで当日参加の方は、受付でお支払いください。学会年会費は本会場ではお支払いできません。発送しましたプログラムに同封の振り込み用紙でお振り込みください。
5. 20日（土）・21日（日）とも学内の食堂、売店は営業しておりません。弁当の販売もいたしませんので、別紙のレストラン・マップをご覧ください。21日は本館2階21番教室が休憩所となっておりますのでご利用ください。
6. 懇親会会場はマーキュリータワー7階（東キャンパス）のマーキュリーホールです。
7. 一橋大学構内は、指定場所（レストラン・マップの裏をご覧ください）以外、禁煙となっております。厳守をお願いします。
8. 大会本部は、20日は東キャンパス、マーキュリータワー7階会議室（A）、21日は西キャンパス本館2階22番教室となります。大会実行委員のスタッフはタグを首から下げています。ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく声をおかけ下さい。

* 国立駅からキャンパスまで



※JR 中央線国立駅南口より、徒歩約 6 分です。
 ※会場は1日目と2日目で変わりますので、ご注意ください。

- 1日目：マーキュリータワー7階
⇒東キャンパス
- 2日目：本館⇒西キャンパス

なお JR 南武線谷保駅からもアクセス可能、徒歩 20 分。

* キャンパス内会場図

